

# ヤマハ発動機グループの歩み

## 1955年

- 日本楽器製造(株)(現ヤマハ(株))より分離・独立し、ヤマハ発動機株式会社が発足(浜北市)
- モーターサイクル第一号車YA-1(125cc)の生産を開始
- 第3回富士登山レースの125ccクラスでYA-1が優勝
- 第1回浅間高原レースの125ccクラスでYA-1が1~3位独占

## 1956年

- 第4回富士登山レースの125cc&250ccで2種目優勝

## 1957年

- 第2回浅間高原レースの125cc&250ccで2種目優勝

## 1958年

- 米国カタリナグランプリに初出場で6位入賞(ヤマハとして初の国際レース参戦)
- ヤマハ・デ・メヒコ設立(メキシコ)

## 1960年

- ヤマハ・インターナショナル・コーポレーション(YIC)設立(U.S.A.)

## 1961年

- 東京証券取引所第一部に新規上場(資本金8億円、160万株)
- 世界GPロードレース(フランスGP)に初参戦
- 第4戦、英国マン島TTレースの250ccクラスで6位入賞
- 第1回太平洋1000kmモーターボートマラソンでCAT-21が優勝

## 1962年

- 第1回全日本ロードレースのノービスクラスで250cc&350ccの2クラス優勝
- 第2回太平洋1000kmモーターボートマラソンでSTR-18が優勝

## 1963年

- パールヤマハでモペッド生産・販売スタート(インド)
- デイトナグランプリ(U.S.A.)でRD56が新記録で優勝
- 世界GPロードレース(ベルギー GP)の250ccクラスで初優勝

## 1964年

- 日本楽器よりボート製造業務移管
- 第1回モトクロス日本GP251cc以上クラスで優勝
- 世界GPロードレースの250ccクラス(RD65)で初のメーカー & ライダーチャンピオン獲得
- サイアムヤマハ設立(タイ)
- 1964年度輸出貢献企業に認定

## 1965年

- 英国マン島TTレースの125ccクラスで初優勝
- 世界GPロードレースの250ccクラスで2年連続メーカー & ライダーチャンピオン獲得

## 1966年

- トヨタ2000GTがスピードトライアルで13種目の世界新記録樹立
- 台湾で二輪車生産の技術援助契約

## 1967年

- 世界GPロードレースの125ccクラスでメーカー & ライダーチャンピオン獲得

## 1968年

- ウイミング社と合併で二輪車を現地生産(マレーシア)
- 初の海外現地法人としてヤマハモーターヨーロッパN.V.(YMENV)を設立(オランダ)

## 1969年

- ヤマハモーター・マレーシアが二輪車を現地生産
- ヤマハテストコース竣工(袋井市)

## 1970年

- ヤマハモーター・ド・ブラジル(YMDB)設立
- 世界GPロードレースの250ccクラスでメーカー & ライダーチャンピオン獲得(TD2)

## 1971年

- インドネシアで二輪車を現地生産
- イギリスリバー世界選手権大会(U.S.A.)でスノーモビル・メーカーチャンピオン獲得

## 1972年

- 本社を現地の磐田市に移転
- モトクロス世界GPの250ccクラス(スウェーデンGP)&500ccクラス(ルクセンブルグGP)で初優勝
- ヤマハモーター・ドイツ(YMG)設立

## 1973年

- ヤマハモーター・カナダ(YMCA)設立
- ヤマハテクニカルセンター磐田開設(磐田市)
- モトクロス世界GPの250ccクラスで初のメーカー & ライダーチャンピオン獲得

## 1974年

- 合併会社ヤマハ・インドネシア・モーター・マニュファクチャリング(YIMM)設立
- 世界GPロードレースの125cc・250cc・350cc・500cc全クラスでメーカーチャンピオン獲得

## 1975年

- ナイジェリアに駐在事務所開設
- 第1回太平洋横断シングルハンドヨットレースでウイング・オブ・ヤマハが優勝

## 1976年

- 第13回日本GPロードレースでYZR750が1-2フィニッシュ

## 1977年

- ヤマハモーターコーポレーションU.S.A.(YMUS)設立(U.S.A.)
- ペルーで二輪車をKD生産

## 1978年

- R&Dミネソタ開設(U.S.A.)
- クォータートンヨット世界選手権大会でヤマハ建造のマジシャン5世が優勝

## 1979年

- 日中友好「広州ヤマハ展示会」開催(中国)
- R&Dアムステルダム開設(オランダ)
- 第1回バリ〜ダカール・ラリーでXT500が優勝
- 世界GPロードレースのフォーミュラ750クラスで6年連続制覇

## 1980年

- R&Dカリフォルニア開設(U.S.A.)
- ベネ・モト社と合併で二輪車を生産(ベネズエラ)

## 1981年

- 中国広州サービスセンター、北京サービスセンターを開設
- モトクロス世界GPの250ccクラスでライダーチャンピオン獲得

## 1982年

- NHW社と二輪車の技術販売提携(西ドイツ)
- モトベカーヌ社と二輪車の製造販売業務提携(フランス)
- 合併会社SEMSPAスペインで二輪車の生産開始

## 1983年

- SIS社に現地生産の技術援助(ポルトガル)
- シドニーにヤマハモーター・オーストラリア(YMA)設立
- エスコート社と合併で二輪車を生産(インド)

## 1984年

- フォード社とエンジン供給で提携(U.S.A.)
- MBKインダストリ社と二輪車生産の技術援助契約(フランス)
- デイトナ200マイルレースで13年連続優勝(U.S.A.)

## 1985年

- フォード社と乗用車用エンジン開発・生産・供給契約(U.S.A.)

## 1986年

- ヤマハモーター台湾(YMT)設立
- イタリアで二輪車生産開始
- OX66エンジンが全日本F2選手権レースで初優勝
- ヤマハモーター・マニュファクチャリング・コーポレーション・オブ・アメリカ(YMMC)設立(U.S.A.)

## 1987年

- ヤマハモーター・エスパーニャ S.A.(YMES)設立(スペイン)
- 鈴鹿8時間耐久レースでYZF750が優勝
- コスワース・ヤマハOX77がF3000全日本選手権レースに出場2戦目で初優勝

## 1988年

- フォード社向けにDOHCエンジンSHO生産開始
- 浜岡テストコース完成(静岡県)
- コスワース・ヤマハOX77がF3000全日本選手権レースでシリーズチャンピオン獲得

## 1989年

- F1レースにウエスト・ザクススピード・ヤマハチームとして初参戦

## 1990年

- 「企業理念—感動創造企業」と「長期経営ビジョン」を発表
- アメリカズカップ1992挑戦艇「NIPPON」建造
- ヤマハモーター・ボルトガル(YMP)設立

## 1991年

- 地球環境対策室設置
- お客様相談室の機能を拡充強化
- テクニカルトレーニングセンター(TTC)完成
- ヤマハモーター・フランスS.A.(YMF)設立
- ヤマハモーター・デ・メヒコS.A.デ・C.V.(YMMEX)設立(メキシコ)

## 1992年

- CCS(カスタマー・コミュニティ・サテスファクション)委員会を発足
- (株)ヤマハフットボールクラブ設立
- 重慶建設ヤマハモーターサイクル有限公司(CJYM)設立(中国)

## 1993年

- 欧州物流センターが稼動(オランダ)
- 環境対策行動計画を発表
- プランズウィック社と4ストローク船外機の共同開発契約(U.S.A.)

## 1994年

- フィリップスEMT社と表面実装機の技術製造販売提携
- 第58回ポルドルー 24時間耐久ロードレースでYZF750が優勝
- 第6回ホイットブレッド世界一周ヨットレースでYAMAHA号が初挑戦・初優勝

## 1995年

- エスコーツ・ヤマハモーター社設立(インド)
- ヤマハモーター・タイランド設立(タイ)

## 1996年

- ヤマハモーター・アルゼンチン(YMARG)設立
- ヤマハモーター・パーツ製造インドネシア(YPMI)設立
- 二輪車、スノーモビル、ATV(四輪バギー)でISO9002認証取得

## 1997年

- ヤマハモーター・ヌアンサ・インドネシア(YMNI)設立
- コロンビアに二輪車サービス技能訓練校を開設
- F1レースのハンガリー GPで「ダンカ・アローズ・ヤマハチーム」が2位入賞

## 1998年

- ヤマハモーター・アジア(YMAP)設立(シンガポール)
- ヤマハ発動機販売株式会社設立

## 1999年

- 2010年環境アクションプラン「Eco Cite YAMAHA」を策定
- ヤマハ発動機全9事業所でISO14001認証取得
- ヤマハモーター・ベトナム(YMVN)で二輪車の生産開始

## 2000年

- トヨタ自動車(株)と業務提携強化
- IM事業部をカンパニー化

## 2001年

- モトクロス世界選手権500ccクラスでメーカー & ライダーチャンピオン獲得

## 2002年

- 3カ年の中期経営計画「NEXT50」を策定
- 「ヤマハブランド戦略」スタート
- YMT(台湾)に日本向けスクーターの生産移管

## 2003年

- マリンエンジン事業をカンパニー化
- ヤマハポーティングシステム(株)設立
- ヤマハモーターディストリビューション・シンガポール(YDS)設立
- 初の売上高1兆円を達成
- アセアンカップ開催開始

## 2004年

- モトGP世界選手権でライダーチャンピオン獲得
- モトクロス世界選手権MX1クラスでライダーチャンピオン獲得
- 全社9サイト16拠点の統合環境マネジメントシステム(EMS)の国際認証を取得

## 2005年

- 3カ年の中期経営計画「NEXT50-Phase II」を策定
- 創立50周年
- モトGP世界選手権でメーカー、ライダー & チームチャンピオン獲得
- 2003年に引き続き、モトクロス世界選手権MX1クラスでメーカー & ライダーチャンピオン獲得
- OOO ヤマハモーター CIS(YMCIS)設立(ロシア)
- バイオ事業の研究開発拠点、ライフサイエンス研究所完成

## 2006年

- ヤマハモーター・マニュファクチュアリング・ウエストジャワ(YMMWJ)が二輪車の生産開始(インドネシア)
- グローバルパーツセンター(袋井市)が本格稼動
- 「コンプライアンス推進特別委員会」を設置
- アスタスキサンチン原料工場完成、量産開始
- 財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団を設立

## 2007年

- ヤマハモーター・フィリピン(YMPH)が二輪車の製造・販売を開始
- CFマグネシウムダイキャスト技術と量産二輪車への世界初採用を発表
- 初の健康食品「ASTIVO(アスティボ)」を発売

## 2008年

- 長期ビジョン「Frontier2020」およびそのフェーズ1となる新中期経営計画を策定
- カンボジアに二輪車製造・販売合弁会社ヤマハモーター・カンボジア(YMKH)設立
- インドに三井物産との二輪車製造合弁会社インディア・ヤマハプライベートリミテッド(IYM)を設立
- インドネシアにグローバルトレーニングセンターを開設
- タイに二輪車安全運転普及のためのヤマハ・ライディング・アカデミーを開設
- 2005年に引き続き、モトGP世界選手権でメーカー、ライダー & チームチャンピオン獲得

## 2009年

- 業績予想修正に伴い、「2010年連結営業利益黒字化」「2012年連結営業利益率5%」への取り組み施策発表
- ヤマハマリン株式会社を合併
- モペッド型二輪車の自動無段変速機構「Y.C.A.T.」の実用化を発表
- モトGP世界選手権でメーカー、ライダー & チームの3冠を2年連続で獲得